

## 子ども店長

### 「わくわく駄菓子屋」大賑わい!!

喜連川の街中にある「和い話し広場」の石蔵で、毎月1回「子ども店長・わくわく駄菓子屋」が開かれています。

秋晴れの9月26日に行ってみると、子ども店長たちは頭にバンダナ、胸に「子ども店長」の名札姿で張り切っていました。子どもたちの手づくりの店飾りに、立看板や3色シールで値付けしたお菓子がかごにきれいに盛りられています。狭いお店に小学生のお客で大賑わいでした。

お客と店長たちの元気な声が飛び交っているなか、1年生の可愛い店長の案内で買い物をしました。「このお菓子が一番美味しいです、おまけも貰えます」と、売込み上手な店長に負け、小さな買い物かごはお菓子で一杯になってしまいました。

この子ども店長の笑顔がとても印象的でした。

「わくわく駄菓子屋」が子どもたちの居場所であり、大人との交流の場になるよう、これからも応援したいと思います。

わわわ隊 森山京逸



## お便り紹介

・ご意見ご感想ありがとうございます。

私は、さくら市青少年センター広報紙の「夢咲楽」の表題の文字がとても好きです。どなたが書いたものでしょうか？見飽きることもなく、ずっとながめていることもあります。このたった3文字が、様々なことを私に語りかけてくるのです。文字のパワーの素晴らしさですね。  
(塩谷町 Sさん)

自転車泥棒について。私も小学生になって自転車で遊びに行くようになったので、カギをきちんとしめようと思います。チェーンのカギも家にあまっているので、「それも付けるといいよ。」とママが教えてくれました。  
(さくら市 Tさん)

わわわ隊の方の自転車盗難防止の啓発活動は、自転車を盗まれた人たちの気持ちも考えたとってもありがたい活動だと思います。今後も盗難される人が減るよう、啓発活動が続くことを願っています。  
(さくら市 Iさん)

ご当地クイズ、なんだか心がなごみました。仕事柄年配の方とお話する機会が多いのですが、たまに「え？」と聞き返してしまうこともしばしば…。栃木県生まれとして方言も大切にしていきたいです。  
(さくら市 Kさん)

今回の問題、「とちぎの方言」のほとんどをネイティブに使っていたことに気づいてビックリ(笑)！  
(さくら市 Hさん)

# 夢咲楽

## ～和輪話通信～

目次	子どもたちへ「ありがとう」……………1	子ども店長
	自転車泥棒その3……………2	「わくわく駄菓子屋」大賑わい!!……………4
	防犯ボランティアは、可能なときに、可能なところで、可能な範囲を……………3	お便り紹介
	オトナ力アップ講座 マスマ先生のワンポイントアドバイス	ご当地クイズ

次のゆめさくら～わわわつうしん～は平成23年3月上旬に発行予定です

## ご当地クイズ



### 出雲の方言と栃木の方言がわかりますか？

方言にあう標準語を下から選んで、あてはめてみよう。

**解説** フクちゃんが、出雲出身のヤマちゃんの家に収穫した大根を届けた時の話です。

**フクちゃん** ①おばんがたです～、ヤマちゃんいるー？

**ヤマちゃん** あら、フクちゃん。②ばんじまして。

**フクちゃん** これ、畑から大根いっぱいって来たから、持ってきたよ。③あんまし、④いぐないんだけど。

**ヤマちゃん** まあ、⑤ろーちきねえ。⑥ただもん、⑦だんだん。たすかるわ。お返しに、いま出雲から送ってきたのがあるの。⑧ちゃんぼしだけど、どうぞ。

**フクちゃん** こちらこそ、⑨いつも珍しいものをもらって⑩わりいねえ。

- 標準語**
- A.あまり B.いつも、毎回(栃木) C.いつも、毎回(出雲) D.すこし
  - E.夕暮れ時のあいさつ(出雲) F.夕暮れ時のあいさつ(栃木)
  - G.いっぱい H.よくない I.感謝のきもちで(ありがとう)
  - J.ありがとう

この問題がわかった方はハガキに問題の番号と答えと、この広報紙の感想を書いて市青少年センターまでお送りください。(平成23年1月15日消印有効)答えをくださった方の中から抽選で10名様に「図書券」をプレゼントいたします。(クイズの正解は平成23年1月中旬過ぎに青少年センターHP[市HPからリンク]、喜連川・氏家公民館の掲示板で発表します。)

### クイズの答え

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

**当選者発表**

園部 咲子様(塩谷町)	川上 慶彰様(氏家)
小松かの子様(氏家)	田代 友栄様(栃木沢)
木村由美子様(草川)	面沢 敬子様(氏家)
小川キ又工様(上河戸)	平石 克典様(氏家)
石川 友則様(氏家)	根岸留美子様(狭間田)

## あとがき

秋も深まり吹く風が肌に心地よく、スポーツや読書・食欲の秋と、思い思いに各種イベントに参加し、秋を満喫されていることでしょうか。

今回でシリーズ企画は終了ですが、皆さまの参考になり自転車泥棒撲滅の一助になれば幸いです。人として善悪を見極め、物に愛着をもち大切に使い自己管理を徹底することが、「犯罪を減らしていく第一歩ではないか」と考えています。

私たちは、今後もチラシ配布や巡回などを定期的実施し、また身近な問題に着眼して啓発活動を行うことで、微力ながら地域のお役に立ちたいと張り切っています。わわわ隊のピンクのブルゾンを見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてください。そして、私たちと一緒に活動してみませんか？

広報啓発班 見目春江



自転車盗難防止活動のチラシ配布



ゲームをクリアして集めたカードで、「げんきなさくらしのこ」となっています。

子どもたちへ「ありがとう」

9月26日(日)、さくら市総合公園で「チャレンジ」をテーマとした体験活動「キミの頭脳とカラダを使ってゲームの世界をクリアしよう」が、快晴のもと行われました。

一人一人の子どもたちが持っているパワーや、楽しそうに笑う無邪気な笑顔は、私たち大人の大きなエネルギーになっています。そして、自分自身の喜びの一つにもなっています。

活動の最後には必ず「ありがとう」の言葉が自然とあふれています。子どもから大人へ、大人から子どもへと素敵な言葉がたくさん聞かれます。「ありがとう」が素直に言える場所が出来たこと、その場所に居られることをうれしくそして誇りに思います。

これからも、大きく成長する子どもたちの姿を、より身近に感じて触れ合い続けていきたいと思っています。

さくら市のたくさんの子どものたちとの出会いを楽しみに待っています。「今度はどんな子どもたちに会えるかな！」

わわわ隊 加藤有希

# 自転車泥棒 その3

自転車泥棒が、「ついちょっと」「そこまで」と出来心で自転車を盗む時、綺麗な自転車は狙わないそうです。そう言われて見れば、自転車置き場の自転車たちは、あまり大事にされていないように見えます。錆びていたり、曲がっていたり、ベルが取れていたり、鍵も壊れていたり。自転車が安く買えるようになって、使い捨て感覚になったからでしょうか。

私が子どもの頃、自転車は高価な乗り物でした。修理しながら大事に使ったものです。今でも初めて自転車を買ってもらったときの嬉しさを覚えています。ピカピカの自転車は、当時の私の「宝物」でした。大切に、大切に乗りました。遊びに行く時の大事な足、と言うよりは「相棒」と言う感じでした。

イタリアの古い映画「自転車泥棒」の自転車はそれぞれ「命の糧」です。ようやく仕事が見つかって、質出してきた自転車を盗まれてしまった主人公と息子は、必死に自転車を探します。自転車が無いとまた失業し、食べていく事が出来なくなってしまうのです。結局見つからず、人の自転車を盗もうとして失敗し、映画は終わるのですが、自転車を使い捨てにする私たちと何と違う事でしょうか。私たちは豊かな生活と引き代えに、「モノを大切に作る心」を無くしてしまったのではないのでしょうか。



写真は、特設ページより転載

## 自転車の盗難防止活動に参加して



7月12日(月)氏家駅前にて

5月からJR氏家駅周辺で、「自転車の盗難をなくそう」と始めたこの活動が、通勤・通学の皆さんに「ご迷惑をかけてはいないか?」と、自問自答しながらパンフレットを配りました。口下手な私には荷が重く感じられましたが、一緒に活動するわわわ隊(少年指導員)の仲間の熱意に押されて、私も早朝から参加しています。「さくら市を安全・安心な住みよい町にしたい」と思う心で、パンフレットを配っています。

それぞれの立場にある人が、模範となる行動で生きること、より素晴らしい地域社会になるのではと思います。警察も、刑務所も、裁判所も「暇で困っています」と言われるような社会にしたいと願っています。

私たちの活動について、皆さんからご意見・ご指導、ご協力をいただければありがたいと思っています。

わわわ隊 渡邊能辰

## 初発型非行が増加しています

### 初発型非行の状況

区分	年別		増減	
	平成21年	平成20年	増減数	増減率
総数	1,096	926	170	18.4%
自転車盗	168	145	23	15.9%
オートバイ盗	37	59	-22	-37.3%
万引き	617	459	158	34.4%
占有離脱物横領	274	263	11	4.2%

(資料 栃木県警察のホームページより)

自転車盗や万引き、軽犯罪法違反など「犯罪の入り口」といわれる犯罪が増加しています。

「たかが…」と考えることが、大きな犯罪へのきっかけになってしまうかもしれません。さくら市の子どもたちのためにも、社会の規範意識の向上を図っていきましょう。

## 防犯ボランティアは、可能なときに、可能なところで、可能な範囲を



9月4日喜連川公民館で、安心安全のために自主的に活動されている団体関係者とPTA、わわわ隊(少年指導員)が参加して「平成22年度さくら市の子どもについて考える会(わわわの会)」を開催しました。

今回はさくら警察署生活安全課加藤俊文氏による「防犯ボランティアとしての心構えと技術向上」というテーマでの講演でした。

防犯ボランティアの基本的な考え方は「可能なとき」「可能なところで」「可能な範囲で」が大切とのことでした。

その後のグループに分かれての意見交換会では、「活動していくための様々な問題」や「各種団体との連携について」活発な議論が交わされました。

今後は、「防犯意識向上」「技術向上」のために、わわわ隊だけでなく、参加した多くの各種団体と連携をして、定期的な会の開催が必要です。これを機に多くの方がわわわ隊の活動に参加していただければと思います。

## オトナ力アップ講座 ~ネット社会の実状を知るために~

市青少年センターでは、ケータイ・パソコン・ゲームなどを簡単に使いこなしてしまう子どもたちに対して、言葉は知っているけれど詳しくはわからない大人のために、ネットの危険性や便利な機能について学び、さらに子どもたちと触れ合うために必要なことを体験学習することで、「オトナ力をアップしよう」と9月から4回の連続講座を実施しました。

受講したさくら市の小池さんは、「子どもたちが使っているものを、親が知らないというのは危険だと思います。親はしっかりと勉強してから、子どもにケータイを持たせたほうがよいのではないのでしょうか。」と話していました。

青少年センターでは、これからもネットやケータイについて勉強会を実施して行きますので、ぜひご参加ください。

ドキドキ…、  
はじめてのチャットです。



## マスミ先生のワンポイントアドバイス



今回は、ケータイから離れて、  
携帯型ゲーム機のお話です



お願いします

- マスミ 携帯型ゲーム機が、インターネットに接続できるものがあることを知っていましたか?
- サクラ えーっ! どういうことですか?
- マスミ (※1) 通信機能を利用して知らない人と遊ぶことができます。
- サクラ 対戦できることは知っているけど…。でも、ゲームができるだけでしょうか?
- マスミ いいえ、ホームページを見たり、そこから掲示板に書き込みすることもできます。
- サクラ 知らないうちに機能がどんどん変わってくるから、勉強していないとだめですね。

携帯型ゲーム機の通信機能を利用している子どもは、多くいます。しかし、これらのゲーム機についての機能制限(※2)について、理解している保護者は少なく、この機能を使うこともありません。

ゲーム依存の問題に加え、「ゲーム機のネット接続」についてもご家庭で考えてみてはいかがでしょうか?

※1. Wi-Fi(ワイファイ、wireless fidelity)は、Wi-Fi Alliance によって無線LAN機器間の相互接続性を認証されたことを示す名称、ブランド名。

※2. ペアレンタルコントロール(英語表記: Parental controls) 子どもによるパソコンや携帯電話などの情報通信機器の利用を、親が監視して制限する取り組みのことである。最近ではテレビゲーム機で遊ぶ時間の制限なども、このように呼ばれることがある。